

相模原商工会議所 景気観測調査結果

(令和4年1月～3月)

新型コロナの収束に伴いゆるやかに回復傾向にあった景況が、オミクロン株と資材不足、エネルギー値上がりにより、再度悪化へ転じた。ただし悪化傾向は長続きしないと見る事業者が多い。

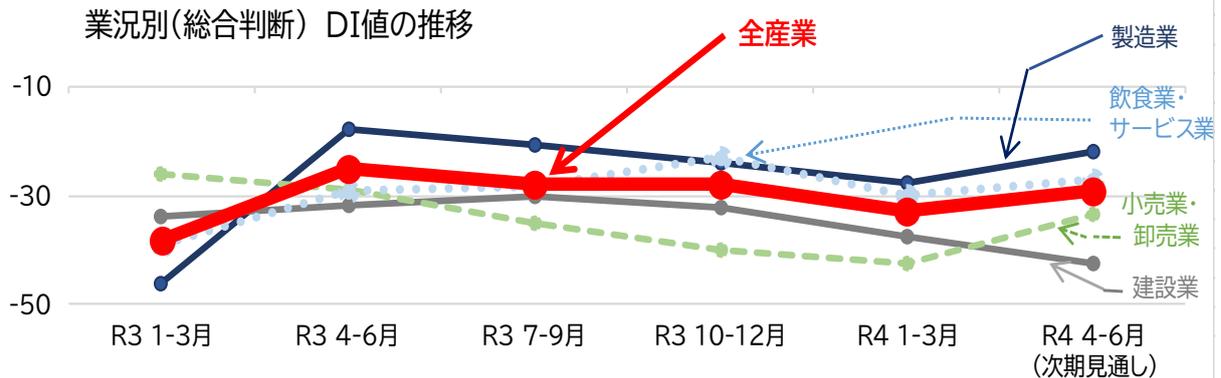
ポイント

- ▶ 令和4年1月～3月期の総合業況DIは▲33と、前期▲28からやや悪化した。前期まで改善傾向に向かっていった飲食業・サービス業(前期▲23・今期▲30)が再度悪化した。製造業(前期▲24・今期▲28)と、建設業(前期▲32・今期▲38)は前期に引き続き若干悪化した。小売業・卸売業(前期▲40・今期▲43)は、1年に渡り悪化が続いている。
- ▶ コメントによると、ロシア/ウクライナ危機に伴う原材料不足、エネルギー値上がりを懸念する事業者が増えている。またオミクロン株による濃厚接触者の急増で業務に影響が出ているという声も上がっている。景気が上向いているという声はほとんど見られず、全業種において景気の悪化を訴える事業者が多数である。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲29と、今期▲33から4ポイント改善の見込み。悪化が続いている小売業・卸売業(今期▲43・次期▲33)は改善に転じる見込み。飲食業・サービス業(今期▲30・次期▲27)と、製造業(今期▲28・次期▲22)は前期並まで改善の予想である。建設業(今期▲38・次期▲42)はさらなる悪化が見込まれる。

各業界から寄せられたコメント

- ・【プリント配線板製造業】半導体不足の状況下ではあるが受注は好調。来期以降は反動が懸念される。
- ・【リフォーム工事】材木、住設機器等の部材高騰、給湯器の流通激減。
- ・【メガネ、コンタクト、補聴器販売】生活用品の値上げラッシュで買控え傾向が拡がり高齢者が客層の店は困っている。
- ・【ビルメンテナンス業】オミクロン株の流行以降、保育園都合での従業員の休みや濃厚接触者対応により、予期せぬタイミングでの人員不足が生じることが増えた。

業況別(総合判断) DI値の推移



	前年同期概要 (R3.1-3)	前々期概況 (R3.7-9)	前期概況 (R3.10-12)	今期概況 (R4.1-3)	次期見通し (R4.4-6)
製造業	▲54 ☂	▲21 ☁	▲24 ☁	▲28 ☁	▲22 ☁
建設業	▲34 ☂	▲30 ☁	▲32 ☂	▲38 ☂	▲42 ☂
小売業 卸売業	▲37 ☂	▲35 ☂	▲40 ☂	▲43 ☂	▲33 ☂
飲食業 サービス業	▲44 ☂	▲28 ☁	▲23 ☁	▲30 ☁	▲27 ☁
全業種 (総合)	▲43 ☂	▲28 ☁	▲28 ☁	▲33 ☂	▲29 ☁

業況天気図凡例

快晴 DI値 31以上	晴れ DI値 30~11	薄曇り DI値 10~10	小雨 DI値 11~20	雨 DI値 31以下
----------------	-----------------	------------------	-----------------	---------------

調査期間: 令和4年1月1日～3月31日
 回答率: 22.6% 回答者数: 840件
 調査対象: 当所会員事業所3,711事業所

<<景気観測調査>>

前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。
 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。